

取組内容 大防災訓練 ・ こども防災放送



3つの訓練で、備えを“総点検”。

情報が「届かない」をなくす。

情報伝達訓練



自宅 / 市民

防災無線や防災アプリ、電話、FAXなど、市民一人ひとりが防災情報の受け取り方を確認。

協力して避難所をつくる。

避難所開設訓練



小中学校 / 職員・市民

市で初めて8か所を“同時”開設。避難所担当職員と住民が避難所の開設手順を確認。

4割の人員で挑む。

初動対応訓練



市役所 / 職員

“職員も被災者”であることを念頭に、限られた人数で初動対応の手順を確認。



防災イベント

水循環式シャワー

能登半島体験談

消防デモンストレーション

防災グッズ抽選会



参加団体 25

来場者 800

良かったこと

- ✓ 全部局、初動で必要な動きを認識できた。
- ✓ 地域団体等との繋がりを強化できた。
- ✓ 課題を洗い出すことができた。

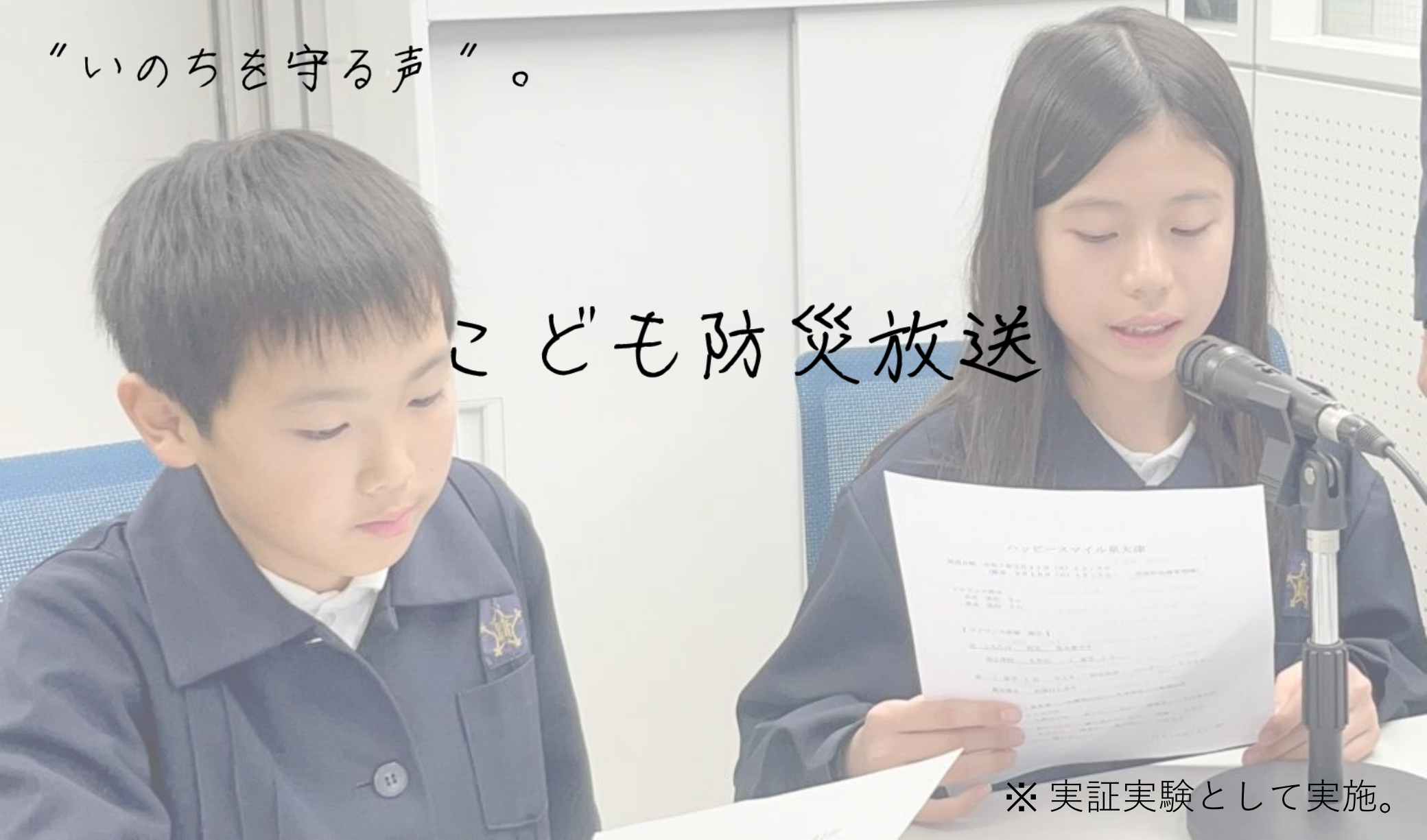
住民から通報。



“ 防災無線が鳴らなかった ”

東日本大地震を知らないこどもたちが届ける、
“いのちを守る声”。

こども防災放送



※ 実証実験として実施。

3 / 11
(火)

12:30 -

こども
防災放送

東日本大震災から14年。

未来を担うこどもたちが

“いのちを守る声”を

届けます。



小学生が無線から備えを呼びかけ。



地域住民が放送に耳を傾ける。



市内67か所に設置した
防災無線放送の屋外スピーカーを使って
こどもたちが防災情報を放送する、
「こども防災放送プロジェクト
『ハッピースマイル』」を行います。



このプロジェクトは、
未来を担うこどもたちが地域の安全を守
るために、自らの力で防災力を向上させ
る取り組みです。

※ 当日は、事前にレコーディングした内容を放送します。

故障の
早期発見

市民の
意識向上

取組内容 R5年度より4カ年の計画で市内全中学校区にて地域避難計画および地域タイムラインを作成

【地域避難計画】

各町会・自治会の代表者様と年3回～4回のワークショップを開催し、近年の災害の特性や防災情報等を学んでいただき、町会・自治会が災害に備えるために必要な知識を得る機会を設けます。また、地域の特性を把握するため、まち歩きを行いそれぞれの中学校区オリジナルの地図を作成します。

【地域タイムラインについて】

台風等の影響による大雨によって引き起こされる「洪水」や「土砂災害」の場合、気象情報からあらかじめ台風最接近(雨が強く降るとき)の時間を予測することができます。

しかし、いざという時に、いつ、誰が、何をするのかを分かっているなければ、全く意味がありません。そこで、「個人」と「コミュニティ」が災害発生数日前から、災害発生まで、何をしなければいけないのか？を分かりやすくするために時系列に表します。「いつ」「誰が」「何をするのか」を時系列に整理したものが「地域タイムライン」です。

令和6年度 作成数

【地域避難計画・地域タイムライン】

2中学校区 計34町会・自治会

配布数：約9,000世帯



地域避難計画



地域タイムライン

取組内容

(取組の概要を記載)

○コミュニティタイムライン作成にむけたサポート

- ・自主防災組織を対象に、年2～3回程度開催する「防災まちづくり勉強会」において、コミュニティタイムラインの重要性を周知し、その後、地区防災計画を作成する組織に対して、コミュニティタイムラインの作成も依頼している。(R5末：1件 R6：2件)
- ・地区防災計画作成済の組織に対しても、積極的に作成の働きかけを行う。

○個別避難計画の作成

- ・福祉部局とWGを複数回開催し、浸水想定で被害の大きいとされている、沿岸部（高師浜、千代田、羽衣）の地区より作成を進めている。
- ・社会福祉協議会へ作成を委託し、介護支援専門員（ケアマネジャー）の協力のもと順次作成中。
(290件依頼：作成42件、不要57件、施設入所等136件、確認中55件)

取組内容 風水害タイムライン訓練・忠岡町総合防災マップの説明（災害リスク、避難情報、避難行動やマイタイムラインなど）

忠岡町風水害タイムラインに基づき、令和6年8月に2日間かけ、実動訓練及び図上訓練を実施した。また、自主防災組織（2地区）に対し、防災講座を実施し、忠岡町で想定される災害リスク等について説明し、自助、共助の重要性を再確認していただいた。更に、ハザードマップの見方や町が発令する避難情報について説明し、避難行動フローを理解してもらい、マイ・タイムライン作成の重要性についても説明を行った。

